

平成 27 年国勢調査

地区別結果(人口等基本集計)の概要

政策企画課

2017/02/09

国勢調査の地区別(町丁字別)結果を報告します。

目次

1 人口	1
2 人口増減率	1
3 年齢(3区分)別人口	3
4 65歳以上人口割合階級別地区数の推移	4
5 世帯	4
6 一般世帯の増減率	5
7 家族類型別一般世帯数	6
8 65歳以上世帯人員のいる世帯	8
9 外国人	10

別添

- 参考表 1 人口、構成比及び順位(平成 7 年、17 年、22 年、27 年)
 - 参考表 2 人口増加率(平成 7 年～27 年)
 - 参考表 3 年齢(3 区分)別人口及び割合、外国人人口、平均年齢(平成 27 年)
 - 参考表 4 65 歳以上人口及び割合の推移(平成 7 年、17 年、27 年)
 - 参考表 5 世帯数の推移、65 歳以上世帯人員のいる世帯、65 歳以上単独世帯(平成 7 年、17 年～27 年)
 - 参考図 1 地区別人口順位(平成 27 年)
 - 参考図 2 人口の構成比(平成 27 年)
 - 参考図 3 人口増加率(20 年間:平成 7 年～27 年)
- ランキング表

注意) 平成 7 年は、平原 1～4 丁目の人口及び世帯数はともに数値なしとなっています。また、各年とも長者原 1～2 丁目の人口及び世帯数はともに数値なしとなっています。御調町釜窪は御調町平に合算しています。

1 人口

人口が最も多いのは、高須町の 12,681 人で、市人口の 9.1%を占めています。次いで向東町(8,849 人、6.4%)、美ノ郷町(8,403 人、6.1%)、栗原町(8,048 人、5.8%)、因島中庄町(5,307 人、3.8%)の順になっています。構成比は、人口の多い上位 15 地区の合計が、市人口の 50.3%を占めています。(表 1)

表1 人口上位地区及び構成比〔平成 27 年〕

順位	地区	人口(人)	人口構成比 (%)	構成比累計 (%)
参考	尾道市	138,626	100.0	-
1	高須町	12,681	9.1	9.1
2	向東町	8,849	6.4	15.5
3	美ノ郷町	8,403	6.1	21.6
4	栗原町	8,048	5.8	27.4
5	因島中庄町	5,307	3.8	31.2
6	山波町	3,637	2.6	33.9
7	向島町歌島	3,548	2.6	36.4
8	因島重井町	3,422	2.5	38.9
9	浦崎町	3,259	2.4	41.2
10	向島町富浜	3,030	2.2	43.4
11	木ノ庄町	2,135	1.5	45.0
12	向島町江奥	2,059	1.5	46.4
13	門田町	1,958	1.4	47.9
14	西藤町	1,809	1.3	49.2
15	向島町有道	1,547	1.1	50.3

2 人口増減率

【5年前との比較】

前回調査(平成 22 年)と比べて人口が増加した地区は 19 地区で、増加した地区の割合は全 161 地区のうち 11.9%でした。人口が減少した地区は 142 地区で、減少した地区の割合は 88.1%でした。(表 2、図 1)

増加率が最も高いのは、平原 4 丁目の 67.4%で、次いで新浜 1 丁目(31.7%)、因島田熊町須鼻区(30.4%)、西御所町(20.4%)、平原 2 丁目(11.3%)の順となっています。(表 3)

一方、減少率が最も高いのは、御調町福井の 28.6%で、次いで因島田熊町本町区(28.1%)、久保 2 丁目(23.0%)、尾崎町(21.6%)、因島土生町赤松上(21.3%)の順となっています。(表 3)

表2 人口増減率階級別地区数〔平成 22 年～平成 27 年〕

人口増減率	地区数 1)	割合(%)
合計	161	100.0
20%以上	4	2.5
10～20%	3	1.9
0～10%	12	7.5
△10～△0%	73	45.3
△20～△10%	63	39.1
△30～△20%	6	3.7

1)長者原 1～2 丁目、御調町釜釜を除く

図1 人口増減率階級別地区数の割合(%)
〔平成22年～27年〕

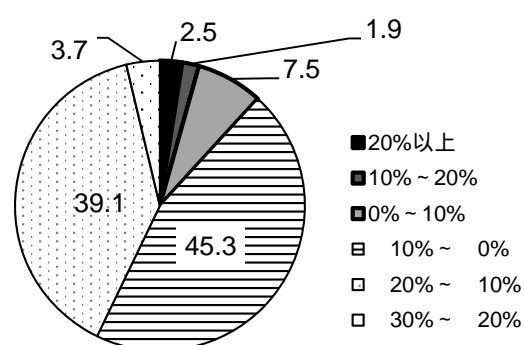


表3 人口増加率順位〔平成22年～27年〕(5年間)

順位	地区	人口増加率 (%)	順位	地区	人口増加率 (%)
参考	尾道市	△ 4.5	∴		∴
1	平原4丁目	67.4	157	因島土生町赤松上区	△ 21.3
2	新浜1丁目	31.7	158	尾崎町	△ 21.6
3	因島田熊町須鼻区	30.4	159	久保2丁目	△ 23.0
4	西御所町	20.4	160	因島田熊町本町区	△ 28.1
5	平原2丁目	11.3	161	御調町福井	△ 28.6

【20年前との比較】

平成7年と比べると、人口が増加した地区は24地区で、増加した地区の割合は全157地区(平原1～4丁目を除く)の15.3%でした。人口が減少した地区は133地区で、減少した地区の割合は84.7%でした。(表4、図2)

また、増減率階級別地区数の割合をしてみると、増減率が△30～△20%の地区が最も多く、41地区(26.1%)でした。(表4、図2)

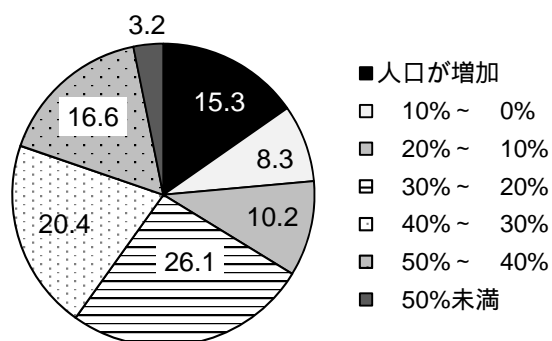
増加率が最も高いのは、新浜1丁目(105.3%)、次いで天満町(80.2%)、高須町(52.8%)、御調町大田(37.2%)、瀬戸田町鹿田原(30.8%)の順になっています。(表5)

一方、減少率が最も高いのは、御調町植野(59.8%)、次いで御調町福井(55.6%)、御調町菅(55.5%)、因島土生町赤松上区(50.9%)、因島鏡浦町(50.6%)の順になっています。(表5)

表4 人口増減率階級別地区数〔平成7年～平成27年〕

人口増減率	地区数 1)	割合 (%)
合計	157	100.0
20%以上	10	6.4
10～20%	6	3.8
0～10%	8	5.1
△10～△0%	13	8.3
△20～△10%	16	10.2
△30～△20%	41	26.1
△40～△30%	32	20.4
△50～△40%	26	16.6
△50%未満	5	3.2

図2 人口増減率階級別地区数の割合(%)
〔平成7年～27年〕



1) 平原1～4丁目、長者原1～2丁目、御調町釜窪を除く

表5 人口増加率順位〔平成7年～27年〕(20年間)

順位	地区	人口増加率 (%)	順位	地区	人口増加率 (%)
参考	尾道市	△ 13.3	∴		∴
1	新浜1丁目	105.3	153	因島鏡浦町	△ 50.6
2	天満町	80.2	154	因島土生町赤松上区	△ 50.9
3	高須町	52.8	155	御調町菅	△ 55.5
4	御調町大田	37.2	156	御調町福井	△ 55.6
5	瀬戸田町鹿田原	30.8	157	御調町植野	△ 59.8

3 年齢3区分別人口

14歳以下人口の割合が最も高いのは、平原2丁目(31.7%)、次いで平原1丁目(28.7%)、平原4丁目(28.0%)、平原3丁目(26.3%)、尾崎町(24.1%)となっています。一方、14歳以下人口の割合が最も低いのは、御調町福井及び御調町山岡で値なし、次いで因島田熊町本町区(1.2%)、因島鏡浦町(1.7%)、因島土生町塩浜北区(2.1%)の順となっています。(表6)

15歳～64歳人口の割合が最も高いのは、新高山3丁目(69.7%)、次いで平原3丁目(69.6%)、門田町(67.0%)、久山田町(66.4%)、御調町中原(65.8%)の順となっています。一方、15歳以上64歳未満人口の割合が最も低いのは、御調町山岡で24.0%、次いで御調町高尾(26.4%)、百島町(28.5%)、十四日町(30.0%)、西御所町(30.9%)の順となっています。(表7)

65歳以上人口の割合が最も高いのは、御調町山岡で76.0%、次いで御調町高尾(70.9%)、百島町(68.3%)、十四日町(66.7%)、因島土生町長崎上区(65.6%)の順となっています。一方、65歳以上の割合が最も低いのは、平原3丁目(4.1%)、次いで平原2丁目(5.6%)、平原4丁目(6.4%)、新高山3丁目(12.8%)、平原1丁目(16.9%)の順となっています。(表8)

65歳以上人口の割合が50%以上の地区は25地区、40～50%の地区は66地区、30～40%の地区は39地区あり、65歳以上人口の割合が30%以上の地区は合わせて130地区(全地区数の80.7%)でした。(表9)

表6 14歳以下人口割合の順位〔平成27年〕

順位	地区	14歳以下 人口割合 (%)	順位	地区	14歳以下 人口割合 (%)
参考	尾道市	11.6	：		：
1	平原2丁目	31.7	157	因島土生町塩浜北区	2.1
2	平原1丁目	28.7	158	因島鏡浦町	1.7
3	平原4丁目	28.0	159	因島田熊町本町区	1.2
4	平原3丁目	26.3	-	御調町山岡	-
5	尾崎町	24.1	-	御調町福井	-

表7 15歳～64歳人口割合の順位〔平成27年〕

順位	地区	15～64歳 人口割合 (%)	順位	地区	15～64歳 人口割合 (%)
参考	尾道市	54.2	：		：
1	新高山3丁目	69.7	157	西御所町	30.9
2	平原3丁目	69.6	158	十四日町	30.0
3	門田町	67.0	159	百島町	28.5
4	久山田町	66.4	160	御調町高尾	26.4
5	御調町中原	65.8	161	御調町山岡	24.0

表8 65歳人口割合の順位〔平成27年〕

順位	地区	65歳以上 人口割合 (%)	順位	地区	65歳以上 人口割合 (%)
参考	尾道市	34.2	：		：
1	御調町山岡	76.0	157	平原1丁目	16.9
2	御調町高尾	70.9	158	新高山3丁目	12.8
3	百島町	68.3	159	平原4丁目	6.4
4	十四日町	66.7	160	平原2丁目	5.6
5	因島土生町長崎上区	65.6	161	平原3丁目	4.1

表9 65歳以上人口の割合階級別地区数〔平成27年〕

65歳以上人口の割合	地区数 1)	割合(%)
合計	161	100.0
50%以上	25	15.5
40～50%	66	41.0
30～40%	39	24.2
20～30%	24	14.9
20%未満	7	4.3

1) 長者原1～2丁目、御調町釜窪を除く

4 65歳以上人口割合階級別地区数の推移

65歳以上人口割合の推移を見ると、65歳以上人口割合が40%以上の地区数は20年前の平成7年(1995年)に比べ約10倍に増加しており、全体の55.2%を占めています。10年前の平成17年(2005年)調査と比べてみても、65歳以上人口割合が40%以上の地区数は約2倍となっています。(図3、表10)

図3 65歳以上人口割合階級別の地区数割合の推移〔平成7～平成27年〕

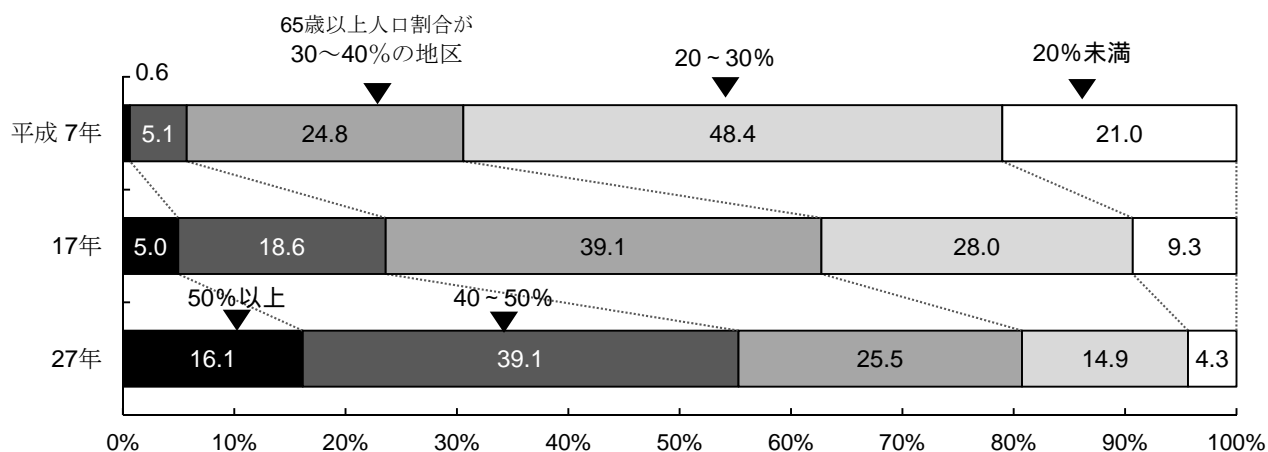


表10 65歳以上人口割合階級別地区数の推移〔平成7年～27年〕

65歳以上 人口の割合	平成7年		平成17年		平成27年	
	地区数 1)	割合(%)	地区数 2)	割合(%)	地区数 2)	割合(%)
合計	157	100.0	161	100.0	161	100.0
50%以上	1	0.6	8	5.0	26	16.1
40～50%	8	5.1	30	18.6	63	39.1
30～40%	39	24.8	63	39.1	41	25.5
20～30%	76	48.4	45	28.0	24	14.9
20%未満	33	21.0	15	9.3	7	4.3

1) 長者原1～2丁目、御調町釜窪、平原1～4丁目を除く

2) 長者原1～2丁目、御調町釜窪を除く

5 世帯

世帯数が最も多いのは、高須町の5,005世帯で、市全体の8.7%を占めています。次いで栗原町(3,551世帯、6.1%)、向東町(3,471世帯、6.0%)、美ノ郷町(3,296世帯、5.7%)、因島中庄町(2,058世帯、3.6%)の順

になっています。構成比は、世帯数の多い上位17地区の合計が、市全体の50.8%を占めています。(表11)

表11 世帯数上位地区及び構成比〔平成27年〕

順位	地区	世帯数(世帯)	世帯数構成比(%)	構成比累計(%)
参考	尾道市	57,759	100.0	-
1	高須町	5,005	8.7	8.7
2	栗原町	3,551	6.1	14.8
3	向東町	3,471	6.0	20.8
4	美ノ郷町	3,296	5.7	26.5
5	因島中庄町	2,058	3.6	30.1
6	山波町	1,604	2.8	32.9
7	因島重井町	1,571	2.7	35.6
8	向島町歌島	1,425	2.5	38.1
9	向島町富浜	1,307	2.3	40.3
10	浦崎町	1,167	2.0	42.3
11	向島町江奥	822	1.4	43.8
12	門田町	798	1.4	45.1
13	木ノ庄町	773	1.3	46.5
14	瀬戸田町名荷	669	1.2	47.6
15	向島町兼吉	616	1.1	48.7
16	西藤町	601	1.0	49.7
17	向島町有道	590	1.0	50.8

6 一般世帯数の増減率

【5年前との比較】

前回調査(平成22年)と比べて、一般世帯数が増加した地区は37地区で、増加した地区の割合は全161地区の23.0%でした。世帯数が減少した地区は124地区で、減少した地区の割合は77.0%でした。(表12、図4)

増加率が最も高いのは、平原4丁目の60.3%で、次いで御調町花尻(31.3%)、新浜1丁目(26.8%)、因島田熊町須鼻区(24.5%)、御調町中原(14.7%)の順となっています。(表13)

一方、減少率が最も高いのは尾崎町の30.8%で、次いで因島三庄七区(25.8%)、久保2丁目(22.8%)、御調町津蟹(22.6%)、因島土生町新生区(18.8%)の順となっています。(表13)

表12 一般世帯数増減率階級別地区数の割合
〔平成22年～27年〕(5年間)

増減率	地区数 1)	割合(%)
合計	161	100.0
50%以上	4	2.5
0～20%	33	20.5
△20～△0%	120	74.5
△20%未満	4	2.5

1) 長者原1～2丁目、御調町釜窪を除く

図4 一般世帯数増減率階級別地区数の割合(%)
〔平成22年～27年〕

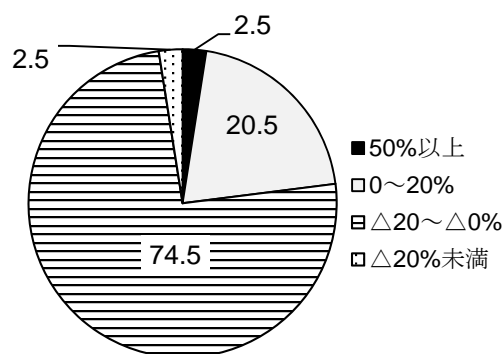


表 13 一般世帯数増減率順位〔平成 22 年～27 年〕(5年間)

順位	地区	世帯数増減率 (%)	順位	地区	世帯数増減率 (%)
参考	尾道市	△ 1.8	∴		∴
1	平原4丁目	60.3	157	因島土生町新生区	△ 18.8
2	御調町花尻	31.3	158	御調町津蟹	△ 22.6
3	新浜1丁目	26.8	159	久保2丁目	△ 22.8
4	因島田熊町須鼻区	24.5	160	因島三庄町七区	△ 25.8
5	御調町中原	14.7	161	尾崎町	△ 30.8

【20 年前との比較】

平成 7 年と比べて、一般世帯数が増加した地区は 49 地区で、増加した地区の割合は全 157 地区の 31.2%でした。世帯数が減少した地区は 108 地区で、減少した地区の割合は 68.8%でした。(表 14、図 5)

増加率が最も高いのは、東尾道の 121.4%で、次いで新浜 1 丁目 (120.7%)、天満町 (87.5%)、瀬戸田町鹿田原 (82.1%)、高須町(81.2%)の順となっています。

一方、減少率が最も高いのは御調町菅の 42.7%で、次いで御調町仁野(39.5%)、因島土生町新生区 (38.6%)、百島町(36.9%)、西久保町(36.8%)の順となっています。(表 15)

表 14 一般世帯数増減率階級別地区数の割合
〔平成 7 年～27 年〕(20 年間)

増減率	地区数 1)	割合 (%)
合計	157	100.0
50%以上	9	5.7
20～50%	15	9.6
0～20%	25	15.9
△20～△0%	58	36.9
△20%未満	50	31.8

1) 長者原 1～2 丁目、御調町釜窪、平原 1～4 丁目を除く

図5 一般世帯数増減率階級別地区数の割合(%)
〔平成7年～27年〕

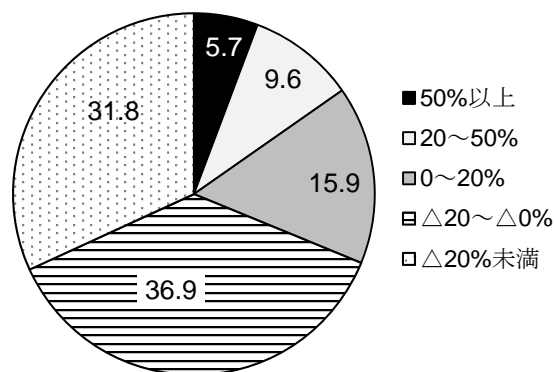


表 15 一般世帯数増減率順位〔平成 7 年～27 年〕(20 年間)

順位	地区	世帯数増減率 (%)	順位	地区	世帯数増減率 (%)
参考	尾道市	74.6	∴		∴
1	東尾道	121.4	153	西久保町	△ 36.8
2	新浜1丁目	120.7	154	百島町	△ 36.9
3	天満町	87.5	155	因島土生町新生区	△ 38.6
4	瀬戸田町鹿田原	82.1	156	御調町仁野	△ 39.5
5	高須町	81.2	157	御調町菅	△ 42.7

7 家族類型別一般世帯数

単独世帯の割合の方が核家族世帯の割合よりも大きくなっている地区は 21 地区あり、全地区の 13.0%となっています。(表 16-1、表 16-2)

単独世帯数が最も多いのは高須町の 1,416 世帯で、次いで、栗原町、美ノ郷町の順になっています。一

般世帯に占める単独世帯の割合が最も高いのは因島三庄町七区の 65.7%で、次いで東尾道、新浜2丁目の順となっています。(表 17-1、表 17-2)

6 歳未満世帯人員のいる一般世帯数が最も多いのは高須町の 798 世帯で、次いで美ノ郷町、向東町の順になっています。一般世帯に占める 6 歳未満世帯人員の割合が最も高いのは平原2丁目の 20.9%で、次いで平原3丁目、平原4丁目の順になっています(表 18-1、表 18-2)

65 歳以上世帯人員のいる一般世帯数が最も多いのは向東町の 1,971 世帯で、次いで栗原町、美ノ郷町の順になっています。一般世帯に占める 65 歳以上世帯人員のいる世帯の割合が最も高いのは御調町山岡の 100.0%で、次いで御調町福井、御調町菅の順になっています。(表 19-1、表 19-2)

三世代世帯数が最も多いのは栗原町の 244 世帯で、次いで向東町、美ノ郷町の順となっています。三世代世帯の割合が最も高いのは尾崎町の 33.3%で、次いで御調町大塔、御調町千堂の順となっています。(表 20-1、表 20-2)

表 16-1 単独世帯数及び核家族世帯数の比較〔平成 27 年〕

	地区数 1)	割合(%)
合計	161	100.0
単独世帯数 > 核家族世帯数	21	13.0
核家族世帯数 > 単独世帯数	140	87.0

1) 長者原 1～2 丁目、御調町釜窪を除く

表 16-2 単独世帯数 > 核家族世帯数となっている主な地区〔平成 27 年〕

地区	総数	単独世帯数	核家族世帯数
久山田町	569	296	223
瀬戸田町中野	407	195	189
三軒家町	342	162	151
東元町	299	131	131
長江1丁目	282	135	130

表 17-1 単独世帯数(一般世帯) 順位〔平成 27 年〕

順位	地区	単独世帯 (世帯)
参考	尾道市	17,870
1	高須町	1,416
2	栗原町	1,310
3	美ノ郷町	866
4	向東町	792
5	因島重井町	634

表 17-2 一般世帯に占める単独世帯の割合
〔平成 27 年〕

順位	地区	割合(%)
参考	尾道市	31.0
1	因島三庄町七区	65.7
2	東尾道	64.5
3	新浜2丁目	58.9
4	東御所町	57.1
5	御調町花尻	57.1

表 18-1 6 歳未満世帯人員のいる一般世帯
〔平成 27 年〕

順位	地区	世帯数
参考	尾道市	4,366
1	高須町	798
2	美ノ郷町	323
3	向東町	302
4	栗原町	228
5	因島中庄町	206

表 18-2 一般世帯に占める 6 歳未満世帯人員の
いる世帯の割合〔平成 27 年〕

順位	地区	割合(%)
参考	尾道市	7.6
1	平原2丁目	20.9
2	平原3丁目	20.7
3	平原4丁目	19.8
4	御調町平木	18.2
5	平原1丁目	18.0

表 19-1 65 歳以上世帯人員のいる一般世帯
〔平成 27 年〕

順位	地区	世帯数
参考	尾道市	30,404
1	向東町	1,971
2	栗原町	1,683
3	美ノ郷町	1,580
4	高須町	1,405
5	因島中庄町	1,010

表 19-2 一般世帯に占める 65 歳以上世帯人員の
いる世帯の割合〔平成 27 年〕

順位	地区	割合 (%)
参考	尾道市	52.7
1	御調町山岡	100.0
2	御調町福井	88.9
3	御調町菅	88.1
4	御調町大塔	88.1
5	因島土生町長崎上区	87.3

表 20-1 三世代世帯数〔平成 27 年〕

順位	地区	世帯数
参考	尾道市	3,626
1	栗原町	244
2	向東町	240
3	美ノ郷町	226
4	高須町	223
5	浦崎町	192

表 20-2 三世代世帯の割合〔平成 27 年〕

順位	地区	割合 (%)
参考	尾道市	6.3
1	尾崎町	33.3
2	御調町大塔	31.0
3	御調町千堂	28.6
4	御調町平木	27.3
5	御調町中原	23.1

8 65 歳以上世帯人員のいる世帯

一般世帯に占める 65 歳以上世帯人員のいる世帯割合の推移を見ると、一般世帯に占める 65 歳以上世帯人員のいる世帯割合が 60%以上の地区は 20 年前の平成 7 年に比べ約 2 倍に増加しており、全体の 60.2%を占めています。(図 6、表 21)

65 歳以上の単独世帯(一人暮らし世帯)数の推移を見ると、一般世帯に占める 65 歳以上の単独世帯(一人暮らし世帯)の割合が 20%以上の地区は 20 年前と比べ約 7 倍に増加しており、全体の 43.5%を占めています。(図 7、表 22)

また、65 歳以上人口に占める 65 歳以上単独世帯の割合の推移を見ると、65 歳以上人口に占める 65 歳以上単独世帯の割合が 20%以上の地区は 20 年前に比べ約 2 倍となっており、全体の 51.5%を占めています。(図 8、表 23)

65 歳以上の単独世帯数が最も多いのは栗原町で 474 世帯、次いで向東町、美ノ郷町の順となっています。(表 24-1)

65 歳以上人口に占める 65 歳以上単独世帯の割合が最も高いのは因島土生町塩浜東区で 39.8%、次いで長江 1 丁目、久保 1 丁目の順となっています。(表 24-2)

図 6 一般世帯に占める 65 歳以上世帯人員のいる世帯の割合階級別地区割合の推移〔平成 7～平成 27 年〕

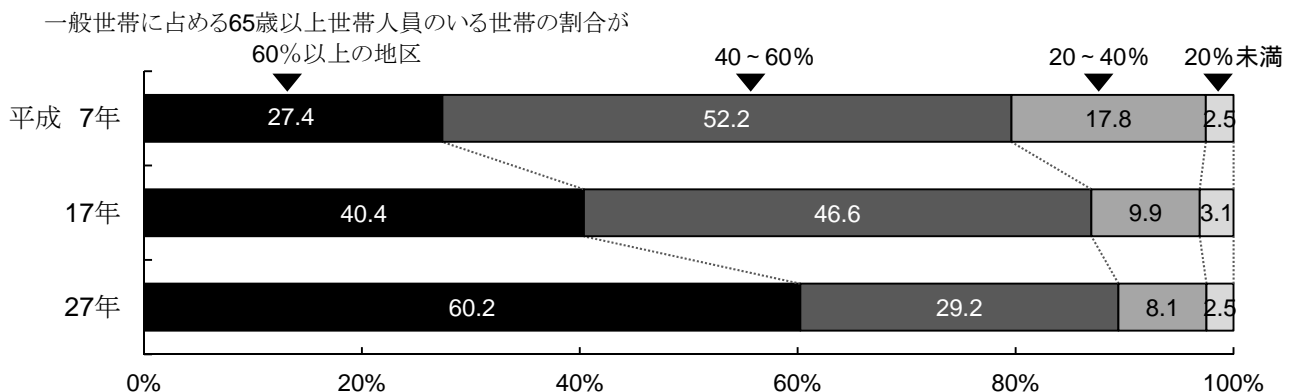


表 21 一般世帯に占める 65 歳以上世帯人員のいる世帯の割合階級別地区割合の推移〔平成 7 年～27 年〕

一般世帯に占める 65 歳以上世帯人員のいる世帯の割合	平成 7 年		平成 17 年		平成 27 年	
	地区数 1)	割合 (%)	地区数 2)	割合 (%)	地区数 2)	割合 (%)
合計	157	100.0	161	100.0	161	100.0
60%以上	43	27.4	65	40.4	97	60.2
40～60%	82	52.2	75	46.6	47	29.2
20～40%	28	17.8	16	9.9	13	8.1
～20%	4	2.5	5	3.1	4	2.5

1) 長者原 1～2 丁目、御調町釜窪、平原 1～4 丁目を除く
 2) 長者原 1～2 丁目、御調町釜窪を除く

図 7 一般世帯に占める 65 歳以上単独世帯の割合階級別地区割合の推移〔平成 7～平成 27 年〕

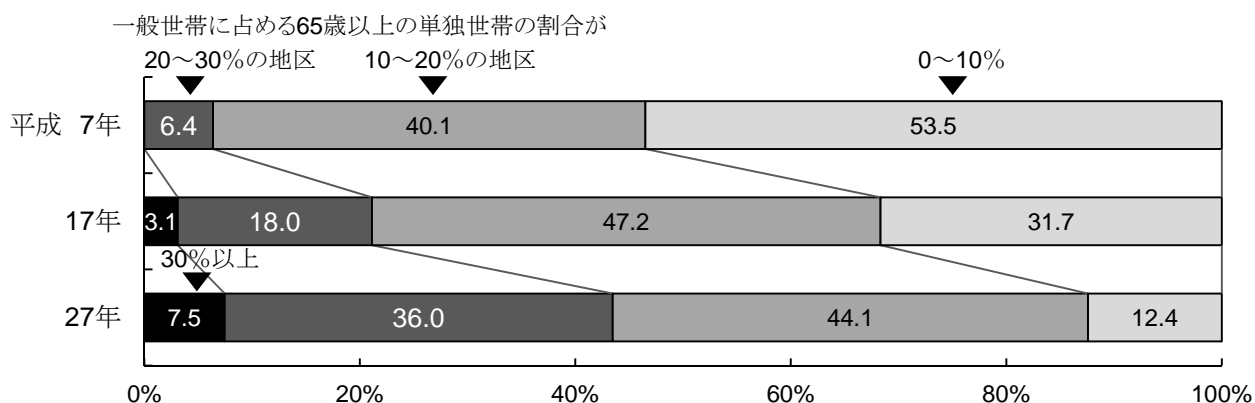


表 22 一般世帯に占める 65 歳以上単独世帯の割合階級別地区割合の推移〔平成 7 年～27 年〕

一般世帯に占める 65 歳以上単独世帯の割合	平成 7 年		平成 17 年		平成 27 年	
	地区数 1)	割合 (%)	地区数 2)	割合 (%)	地区数 2)	割合 (%)
合計	157	100.0	161	100.0	161	100.0
30%以上	-	-	5	3.1	12	7.5
20～30%	10	6.4	29	18.0	58	36.0
10～20%	63	40.1	76	47.2	71	44.1
0～10%	84	53.5	51	31.7	20	12.4

1) 長者原 1～2 丁目、御調町釜窪、平原 1～4 丁目を除く
 2) 長者原 1～2 丁目、御調町釜窪を除く

図 8 65 歳以上人口に占める 65 歳以上単独世帯の割合階級別地区割合の推移〔平成 7～平成 27 年〕

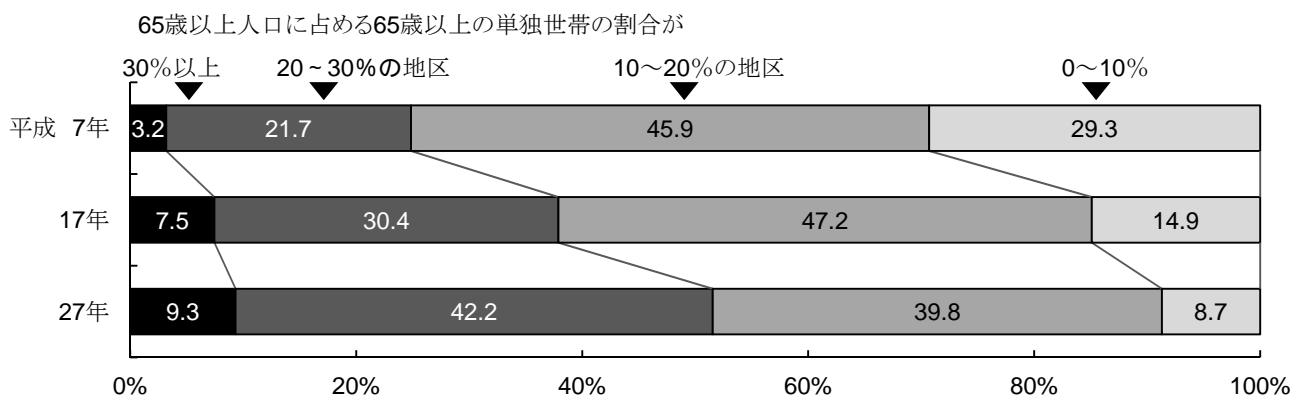


表 23 65 歳以上人口に占める 65 歳以上単独世帯の割合階級別地区割合の推移〔平成 7 年～27 年〕

65 歳以上人口に占める 65 歳以上単独世帯の割合	平成 7 年		平成 17 年		平成 27 年	
	地区数 1)	割合 (%)	地区数 2)	割合 (%)	地区数 2)	割合 (%)
合計	157	100.0	161	100.0	161	100.0
30%以上	5	3.2	12	7.5	15	9.3
20～30%	34	21.7	49	30.4	68	42.2
10～20%	72	45.9	76	47.2	64	39.8
0～10%	46	29.3	24	14.9	14	8.7

1) 長者原 1～2 丁目、御調町釜窪、平原 1～4 丁目を除く

2) 長者原 1～2 丁目、御調町釜窪を除く

表 24-1 65 歳以上単独世帯数(一般世帯)の順位〔平成 27 年〕

順位	地区	世帯数
参考	尾道市	8,812
1	栗原町	474
2	向東町	462
3	美ノ郷町	368
4	高須町	348
5	因島中庄町	237

表 24-2 65 歳以上人口に占める 65 歳以上単独世帯数割合の順位〔平成 27 年〕

順位	地区	割合 (%)
参考	尾道市	18.7
1	因島土生町塩浜東区	39.8
2	長江1丁目	37.8
3	久保1丁目	36.8
4	因島土生町塩浜北区	36.2
5	久保2丁目	34.1

9 外国人

外国人人口が最も多いのは、因島重井町の 256 人で市全体の 16.4%を占めています。次いで高須町、瀬戸田町名荷の順となっています。(表 25)

表 25 外国人人口及び構成率の順位〔平成 27 年〕

順位	地区	外国人人口(人)	構成比 (%)
参考	尾道市	1,563	100.0
1	因島重井町	256	16.4
2	高須町	140	9.0
3	瀬戸田町名荷	105	6.7
4	向東町	67	4.3
5	因島中庄町	58	3.7